

# 令和5年 第11回奈井江町教育委員会会議録(第1日)

招 集 年 月 日	令和5年11月21日		招 集 場 所	公民館 中会議室		
開 会 日 時	開 会	令和5年11月28日		午後 12 時 55 分		
閉 会 日 時	閉 会	令和5年11月28日		午後 3 時 12 分		
応 招 委 員  出席 4 名  欠席 1 名	教 育 長	相 澤 公	○	委 員	三 原 新	○
	職務代理者	堀 美 鈴	○	委 員	矢 萩 優 子	×
	委 員	林 知 孝	○			
議 事 出 席  職 員	参 事	松 本 正 志	文 化 振 興 係	高 田 基	傍聴人  0人	
	教育支援係 係長	井 上 圭 世				
	文 化 振 興 主 幹	大 久 保 雅 子				
会 議 に 付 し た 議 事 案 件	号 数	件 名			可否区分	
	報告第1号	教育長行政報告			承認	
	議案第1号	令和5年度教育費補正予算について			可決	
	議案第2号	令和6年度教育費予算(予算概要調書等)について			可決	
	議案第3号	全国体力・運動能力・運動習慣等調査の公表について			可決	

## 令和5年 第11回奈井江町教育委員会議事録

	<b>1. 開会</b> 12:55
松本参事	<p>本日、矢萩委員は欠席となりますが、第11回となる教育委員会を開催して参ります。</p> <p>それでは、教育長挨拶以降進行について、よろしくお願いたします。</p>
相澤教育長	<p><b>2. 教育長挨拶</b></p> <p>今日は、まだそうでもないかもしれないが、そろそろ根雪になりそうなところであります。先日、町全体の除雪計画も例年通り行うという事でしたので、子ども達の登下校も心配ないと思っております。今年は暖冬傾向と言われており、昨年のように、見通しが悪くて登下校の交通安全に対する懸念も、昨シーズンほどではないと思っておりますが、小中学校で連携しながら、登下校の配慮をしていきたいと思っております。</p> <p>それでは本日の教育委員会を進めてまいりたいと思っております。</p>
相澤教育長	議案の前回議事録の説明をお願いします。
井上係長	<b>3. 前回会議録(令和5年9月26日)会議録 説明</b>
相澤教育長	皆さんから何か質問等ありますか。
委員	ありません。
相澤教育長	それでは、承認といたします。
相澤教育長	<p><b>4. 報告 報告第1号 教育長行政報告</b></p> <p>1ページをお開き願います。</p> <p>前回の行政報告で記載をしておりますので、お配りした議案に記載はありませんが、10月17日奈井江商業高校で町長と語る会を実施しています。10月27日、中学校での町長と語る会を実施しています。既にご案内の通り、今年度と来年度は令和7年から始まる「第7期まちづくり計画」の議論をする期間になりますので、高校や中学校についても、単に目先の町づくりということではなく、例えば中学校だったら10年先の私たちとか10年先のその後輩の中学生たちというようなことで、子どもたちに検討いただき、町長と語り合う内容で行っております。この2つの町長と語る会の議事録を資料配付しておりますので、後ほどご覧いただきたいと思っております。</p> <p>10月25日、奈井江商業高校の修学旅行に関し、24日から26日の期間で関西方面に行っておりますが、今年度から奈井江町の友好都市である岡山県高梁市まで足を伸ばしていただいて、県立の高梁城南高校と交流をしています。高梁城南高校につきましては、各学年100人位いて、全校生徒319人の学校です。その内3分の1程度の約100人位が地元の高梁市から通っています。当日、奈井江商業高校のバス到着時には、それぞれ教室の窓から全校生徒が手を振って歓迎をしてくれて、帰る時は2年生の生徒全員に玄関から見送って頂くなど、奈井江の子ども達も感激したと聞いております。</p> <p>また、城南高校は、総合的な探求の時間にすごく力を入れており、この</p>

相澤教育長	<p>授業については、教室に生徒がいないことが望ましいというのを1つスローガンに掲げ、例えば、近所にあるスーパーの中に高校がカフェやワークショップを設置して、学校から出て実践的な取り組みを行っています。</p> <p>奈井江の生徒や先生たちが、城南高校の「JONACAFE(ジョナカフェ)」に行き、お茶を飲んだり、お菓子やケーキを食べながら交流をしています。校長先生自身が城南高校の取り組みに良い意味でのショックを受けていて、奈井江商業としても外に出て、地域探求を充実させる必要があると感想を述べていました。次年度以降、こうした友好都市との交流を通じ、高校の授業のあり方もまた良くなっていくということからも、素晴らしい交流だったと思っています。</p> <p>11月3日、4日から6日にかけて総合文化祭が行われています。芸能につきましては出演者が41人、129人のご来場をいただき、展示につきましては518人の方が出展され、来場者は約500人です。盛会の中に開催することができたと思っています。</p> <p>11月9日、次年度の教職員人事に係る第1次協議で空知教育局に行き、局長や次長、企画課長と協議を行っています。例年言われていることではありますが、今年についても先生たちの加配については、基準よりも多く配置することは非常に厳しいと言われております。課題として、空知管内の小・中学校10校弱ですが、今も加配どころではなく、定員割れの配置をせざるを得ない状況が続いており、加配については非常に厳しいとのことでした。しかし、小学校中学校の事情を説明しながら、1名ずつの加配についてお願いをしております。</p> <p>16日、第4回奈井江町学校運営協議会を開催しております。主な熟議の内容として、小学校6年間、中学校3年間におけるそれぞれの特別授業、例えば小学校5年生では田植えや稲刈りを行っています。委員の皆さんに9年間の俯瞰して、どのように効果的な学びを進めていくかということについて議論いただき、今回と次回の協議会でもう1度そのことを話し合いしていただくこととしています。委員の中には、一般町民の方も大勢いますので、難しい議論もあるという思いを持ちつつ、9年間の学び、視点を持ちご議論いただくこととしております。</p> <p>11月18日と23日に文化ホールで主催事業を開催しております。23日の「BBBB」を持ち、4月から開催してきたコンチェルトホールの30周年事業が終了になりました。来場者については、席が足りなくなる満員となったものもありますし、少し寂しい時もありましたが、質だとか、あるいは町民の方に聴いて欲しいという観点での企画としては、30周年としては非常に良い事業を展開したと思っています。</p> <p>以上が行政報告となります。</p> <p>何かご質問はありますか。</p>
委員	ありません。
相澤教育長	<p>それでは、次第の5. 議事に入ります。</p> <p>令和5年度教育費補正予算について事務局の説明をお願いいたします。</p>

松本参事	<b>5. 議事 議案第1号 令和5年度教育費補正予算について</b> 資料説明
相澤教育長	ご質問ありますか
三原委員	エアコンの設置と電源改修費は合わせの説明でしたが、大まかに何対何ぐらいのものかわかりますか。
松本参事	小学校費のエアコンについては半分半分という形ではなく、エアコン整備費で31,647千円、電源改修で18,309千円、中学校費では、エアコン整備費で27,505千円、電源改修が27,409千円となっています。
三原委員	エアコン整備は、町民から要望が多かったと思いますが、お金の計算までして要望した町民は、多分いないと思います。一般に販売されている価格を想像していたと思います。事業費が1億円と知ったら驚くと思います。それに対する町民への説明材料は何かありますか。何百万で終わると考えている町民もいるといいます。
松本参事	事業費全体は小学校、中学校合わせて1億197万となっています。この財源として補助金、そしてお金を借りて行いますが、借受けした額の償還に対しては交付税措置もありますので、それを除くと、町の持ち出しは約3,800万になります。これらを10年位で返していくことになります。
三原委員	整備するエアコンは全部で何台ですか。
松本参事	小学校、中学校合わせて36台です。
三原委員	台数で割り返しても1台何百万です。びっくりします。
堀委員	お金は町が支出するのですが国から補助金もくる。この補助金は、今年猛暑だったから制度化された補助金なのですか。
松本参事	今年の暑さを踏まえて、北海道知事や教育長をはじめ、教育関係団体なども一緒に、国に対し要請活動を行っており、国の経済対策の補正予算で学校のエアコン整備に関する補助金が盛り込まれています。
堀委員	砂川小学校みたいに、早い時期にエアコンを設置している学校もありますが、こういう補助金はなかったということですか。
松本参事	元々、国の補助制度として大規模改造事業の中で空調設備の補助金はあります。当初、国の動きでは、今回の猛暑から春先に令和6年度整備の要望を行っている自治体については、令和5年度に前倒しを可能とする調査が行われ、その後、令和6年度に新規で取り組む自治体があるか、調査が行われました。 奈井江町では、春先の要望は行っておらず、今年度で使用可能な補助金がないため、令和5年度は起債での整備、令和6年度で補助金を活用して整備していく、2か年の整備計画を考え進めていました。しかし、今回、春先に要望していない自治体や令和6年度に予定する事業を5年度で実施することを可能とする内容になり、補助金活用が出来るため、改めて申請を行い早期に進めていくこととしました。
相澤教育長	元々、補助金制度がある中、本州の小中学校では100%に近い状況でエアコンが設置されている。北海道は遅れており1割とか2割しか付いてない状況です。今年、とりわけ暑い日々が連続し、しかも女子児童が亡くなる

相澤教育長	<p>痛ましい事故もあり、北海道の小中学校や高校に早急に整備しなければならず、北海道知事や北海道教育局長が文科省に要請活動を行い、そのことに対する配慮をお願いする要請活動を行ったことが1つ。それから北海道の多くの小中学校高校で整備することとなると、必要な補助金の額も多額になるため、国は経済対策を今回の補正で行うという情報を、北海道知事の方で捉えていたので、令和5年度でエアコンを付けるための補助金配慮について要望を行っています。その要望を文科省の方でも受け止めてくれて、今回、国の経済対策の補正の中でエアコン整備補助金が組み込まれています。今回、奈井江町は、その補助金を受けながらエアコンを設置していくため、今度の12月議会に補正予算を提案していきます。</p> <p>その要請がなければ、来年度、オール北海道の小・中学校が一斉に補助金申請しても、そんなに枠はありませんということになっていたかもしれません。今回の令和5年度補正予算措置で、間口が広くなり、来年の夏を安心して迎えられる小中学校が北海道でも増えてくると思います。</p>
堀委員	奈井江町の文化ホールとかで、整備されているようなエアコンが整備されていくのですか。
松本参事	文化ホールの交流談話室とか練習室にあるようなものをイメージしていただけたらと思います。
三原委員	金額的には妥当な金額なのですか。やはり家庭用と違うのは理解するのですが。
松本参事	管内の教育委員会事務局長会議の中で、設置している自治体に事業費など聞かせていただきましたが、概ね5,000万～6,000万円の事業費で、設置数からも同じような価格でした。今回、参考見積では高規格な内容でしたが、既に設置している砂川市の学校も参考にしながら、規格を下げても対応できるということで、機種も選び直しています。
林委員	事業費では2,000万円位と思っていましたが、やはり家庭用の感覚とは違いました。
堀委員	子どもたちが下校する時間ですが、午後2時～3時は暑い時間帯です。涼しい学校から暑い外へとなります。涼しくなる午後5時位まで学校で授業をすとか、これだけの整備するのだから、エアコンを最大限活用するという事は。いま夏休み冬休みなど、長期休業日数延長の議論もあるので、奈井江町独自のやり方があっても良いのでは。
三原委員	ただ、エアコン設置となると、今度は電気代が上がりますよね。試算とかしているのですか。
松本参事	<p>機械のカタログに出ている規格で計算して、一つの学校で1日8時間1ヶ月20日稼働した場合で、約30万円位上がる見込みです。</p> <p>使い方にもよりますが、ほかの自治体に聞いたところ、夏の期間で比較すると、2割から3割増えている状況もあります。</p>
三原委員	電気代は、それくらい掛かりますよね。
堀委員	夏休みは延長するのですか。
相澤教育長	今月の校長教頭会議で、夏休み冬休みの日数について、協議が必要だと

相澤教育長	<p>思っていることを伝えています。その時点では、エアコン設置が確約できるのか未確定のため、エアコン設置の目途がつきましたので、夏休み冬休み期間の総体を延長するのか。夏だけを延長して冬休みを短くして、総体は変えないというような議論を、次回の校長会議で協議してまいります。</p> <p>今のところ道内の動きはバラバラです。「ただ暑くて、教室にいることが大変だから、夏休みを延ばす」とことが、夏休み延長の理由だとしたら、エアコンが機能していれば、さらに夏休みを延長する必要はないと考えています。以前コロナで分散登校をした時は、登校日数が減り、学校の冬休みを削り授業を行うなど、経験をしてきましたので、安易に夏休みを伸ばせるということにはならないと思います。休みの期間は夏冬合わせて最大50日と規則で定めています。夏冬日数の振り分けは学校にお任せしています。</p>
堀委員	エアコンは、後方の方が涼しいとか教室内で温度差はないのですか。
松本参事	エアコンは教室の後方に天井から吊り下げるようなものになり、自動的に空気を循環するようになると思います。
堀委員	家庭用だと人を察知するような機能がありますが、そうした機能はありますか。
相澤教育長	そのような機能はついていないと思います。扇風機などで工夫は必要かもしれませんが。
林委員	物価高騰とはいっても1億円は驚く数字ですね。
三原委員	町民は驚くと思います。ただ、そういうものですと言われれば納得するかもしれませんが、こんなに高いとわかっていれば、付けてと言わなかったという人もいるかもしれません。
堀委員	教室に子どもが大勢いなくても、各教室にエアコン1台ですよ。奈井江町は人数が少なく、もったいない教室もありそうです。
相澤教育長	子どもの学びの確保のために、必要な箇所を限定して計画をしたところです。
相澤教育長	あと、他にありますか。
委員	ありません
相澤教育長	それでは、議案第1号について、可決いたします。
相澤教育長	それでは、 <b>議案第2号、令和6年度教育費予算（予算概要調書等）</b> について説明をお願いいたします。
井上係長	教育支援係分～説明
相澤教育長	何か質問はありますか。
林委員	通学費の助成ですが、高校の定期代は結構な額ですね。
堀委員	特急料金も含めているのですか。
井上係長	特急料金までは出していません。高校生の6ヶ月定期で積算していて、札幌まで通学定期6ヶ月分が108,000円。この1年間分で216,000円。助成割合として4分の1で試算して54,000円。下宿している人に関しても、これを上限に支援する形で考えています。子育て支援の議論については、

井上係長	<p>今後、まちづくり計画策定の中で町民の方にも議論いただくこととなります。</p> <p>また、次期第7期まちづくり計画策定に向けた「子育て支援策」については、役場職員全体で考えるため、担当所管に関わらず、自由に意見を提案して良いという指示がありました。この政策は、そうした経過により、他の係から提案されたものです。提案の趣旨としては、今まで奈井江商業高校への支援として町外の子への支援ばかりで、町内の子にはどうして支援がないのか、という意見を言われていました。過去、奈井江商業高校へ助成した補助金の額をベースに、保護者の負担を少し軽減する程度ということで試算をしました。この辺は、あくまでも議論の入り口ですので、教育委員のご意見も頂きながら検討していければと思います。</p>
堀委員	<p>高校は義務教育ではないので、私は、高校まで支援する必要はないと思います。</p>
相澤教育長	<p>金額の積算としては、奈井江商業高校への補助金をベースに考えるのではなく、ゼロベースからでいいと思います。</p>
林委員	<p>ボランティアについて、既に手伝われている人はいますか。</p>
井上係長	<p>いません。スキー授業の時に、保護者が少しお手伝いしてくれている程度です。あとは、運動会前のグラウンド整備として、PTAの役員さんにお声掛けしてお願いしているとのことですが、PTAの役員さん自体も、仕事で忙しいこともありますので、学校も苦慮しているようです。実際に、手が空いている方とか、地域の方にお手伝いしてもらえぬ制度をと思い考えました。ただ、無料ボランティアではなく、少しお礼程度のことのできれば良いと思い、既に保健センターで制度化されているも事業がありますので、同じような形で、学校での困りごとの解消に繋がられないかとの思いでの提案でした。</p>
林委員	<p>わかりました。</p>
堀委員	<p>私が1番気になったのは、算数・数学検定の拡充と複数の教師による数学のTTです。算数や数学は大きな課題で、学力を付けていく必要があると思います。</p>
相澤教育長	<p>質問やご意見はありますか。</p>
三原委員	<p>この計画は、これからどのようなステップを踏んで決定していくこととなりますか。今は、この辺というものがありますか。</p>
井上係長	<p>この後、町民との懇談会があります。それらの議論を経て、第7期まちづくり計画を完成させていくので、今は、本当に入口で、どのようなことをしたらいいのか意見出しをしているところです。</p>
相澤教育長	<p>職員から上がってきた案を、まちづくりの事務局である政策推進係が、各所管への振り分けを行い、各課で内容を精査しながら提案していくという内容で、本当のたたき台状態ではあります。もしかしたら、今ここで共有するのは、少し早いかもしれませんが、こうした提案があることを教育委員にも共有した方が良いと思っています。</p>
堀委員	<p>教育委員会以外にも意見が出されているのですね。</p>

井上係長	はい。
堀委員	これから町民委員会の中でも議論を行い、町民からも、もっとこんなことをという意見が出てきたら、取り入れていく可能性もあるということですね。
相澤教育長	そうです。
堀委員	わかりました。
相澤教育長	それでは、教育支援係全体でその他ございませんか。
委員	ありません。
相澤教育長	それでは次、文化振興係説明をお願いします。
大久保主幹	文化振興係分～説明
相澤教育長	質問等ございますか。
堀委員	大変な計画ですね。多くの施設を所管しているのです、維持も大変です。施設の統合等も必要と考えます。公民館の大ホールも、こんなに大きいのが必要なのか、文化ホールで代替え出来ないかなど。
相澤教育長	新年交礼会や敬老会など、大人数で飲食を伴うようなものは、他に施設がないので、公民館大ホールを使用しています。
堀委員	公民館のピアノは調律しているのですか。
大久保主幹	1年に1回、実施しています。
堀委員	使用頻度は無いのに経費は掛かるので、ある程度の整理は必要だと思います。
三原委員	体育館のエアコンは初めて聞きました。
大久保主幹	体育館は避難施設にもなりますので、防災担当と協議を進めているところですが、具体的な内容はまだ決まっていません。
林委員	体育館にまで整備していくのは意外でした。
相澤教育長	体育館という機能だけだと整備の必要はないのですが、避難所ということであれば、体育館は高台にもあるので、きっと一番使うような施設だと思います。今、災害弱者と言って、乳児や障がい者の方に配慮しながら避難を行うなどの感覚を持つことが必要で、教育委員会だけではなく、防災や災害を担当している部署とも内容を整理していく必要があると考えています。
三原委員	整備する箇所は決まっていないのに、電気工事は決まっているのですか。
大久保主幹	具体的な整備箇所は決まっていますが、電気工事が必要なことは分かっていますので、計上しています。
相澤教育長	他にありますか。
堀委員	今後、まちづくり委員会で委員に公開し、委員で話していくので、これは確定ではないのですね。
相澤教育長	来年3月くらいまでは、とにかく色々な意見を出してもらおう会合を計画しています。その後、数多く出た意見を、まずは職員が受け止めて、金額や年次、必要性、先送りした方が良いのではということなど、春以降に検



相澤教育長	<p>討していくことになると思います。それが一定程度まとまったら、まちづくり町民委員会で議論を行い、町民委員会としての意見を整理してもらい、町長がまた改めて受け止めて、最終的な10ヶ年計画を完成させ、議会に諮る流れになります。</p>
井上係長	<p>以前、教育委員会でもお配りした資料の中に、今後、まちづくり計画のスケジュール案を示していますが、確定まで必要な流れは、記載されているので、参考にしていただきたいと思います。</p>
三原委員	<p>前回策定したときは、毎月のように町民委員会がありました。これから林委員は忙しくなります。</p>
林委員	<p>今は全然開催されていませんが、これからなのですね。</p>
井上係長	<p>スケジュール(案)の中では、基本構想策定に向けて年度中に3～4回開催となっています。</p>
相澤教育長	<p>あと何か質問はありますか。</p>
堀委員	<p>確認ですが、小中学校のエアコン整備は確定ということですね。</p>
相澤教育長	<p>小学校と中学校は確定です。体育館は、これから協議をしていくということです。</p>
堀委員	<p>わかりました。</p>
相澤教育長	<p>全体に関わることなので、今私の頭の中にある、この先の取組みイメージを話します。</p> <p>冒頭、CS協議会の中で小学校、中学校の特別授業について、9年間を俯瞰して学びを考えてください、ということをCS委員にお願いしていることを話しましたが、それは特別授業のことだけなのです。</p> <p>令和6年度では、現在の小中学校における6・3年の体制について、9年間の学びとして俯瞰した時にどうあるべきか、ということをCS委員に議論してもらおうと思っています。</p> <p>CS委員の中で意見がまとまった後、答申という形になるかは不明ですが教育委員会に意見を出していただき、その意見を教育委員の皆さんと共有しながら、義務教育や小中一貫なのか、それとも現状のままでいいのか、教育委員会で議論しながら決めていきたいと思っています。令和7年度に、現状通りで良いということであれば、大きな影響はありませんが、義務教育学校にしていくなど、現状と変わる場合は、令和10年位までかかるかもしれませんが、検討委員会をつくり、議論をしていただき、そこから施設の事を考えていくことになります。</p>
相澤教育長	<p>奈井江小学校拡張するのか、高校施設を使わせてもらうのか、それとも新規で校舎を建てることなど、令和10年から11年にかけて教育委員会の中で議論したいと思っています。</p>
堀委員	<p>今までは、国の指導要領に基づき、小学校で6年間、中学校3年間で授業をしていますが、それを9年間とした時、学年で学ぶ内容や、更にかみ砕いて丁寧に教えるなど、教え方が違ってくるのでは。</p>
相澤教育長	<p>国の学習指導要領を大きく逸脱することにはならないと思いますが、裁量権もありますので、委員が言われたことが出てくると思います。</p>

堀委員	例えば、英語の授業は英語しか話さない、あるいはこの教室では英語しか話せませんか、そのような取り組みで英会話の力をつけていくとか、独自の取り組みもできるのですか。
相澤教育長	例えば、9年間の中で、小学校1年生から5年生までを一括り、6年生と中1を一括り、2年生と3年生を一括りとして、基礎基本、応用、高校入試を見据えた実践、という取り組みを9年間の中で進める考えもあると思います。
堀委員	映画「夢見る小学校」のように、今までの授業にとらわれず必要なものをカリキュラムに入れ、最終的に習得するとか、英語しか使わない授業なども面白いと思います。特色ある教育を進めていくことで、奈井江町の学校で学ばせたいと思い、移住者も増えるかもしれません。
相澤教育長	少し先になりますが、令和6年はCSで、令和7年に教育委員会で議論を行い、令和8から10年には特別委員会を設けて、学校の先生や学校管理職も含め色々な人に関わっていただき、どのような学校にするのかなど、具体的な話について令和8年度から10年度に渡り議論を行い、校舎の建設が伴えばタイミングが、若干ずれることも想定はされますが、11年度以降に動き出していきたいと考えている。
三原委員	中学校の校舎問題は、いつまで持たせるのかについて議論があり、目途もなかったので、今後5～6年の目途ができたので良いと思います。
相澤教育長	今の教育ビジョンは令和7年度で前期が終わるため、令和8年度からの後期4年間について、令和7年度末までに議論をしていくこととなり、そのことともマッチングしてくると考えています。奈井江町全体を考えつつ、義務教育のことも考えていくことが必要です。
堀委員	以前、会議の時に、奈井江商業高校をパソコンオフィスや会社に賃貸、会社を誘致して人を集めたら良いなど、色んな事に活用したらという意見が沢山ありました。 例えば、施設を小学生や中学生が利用しても空き教室はありますか。
相澤教育長	そこまで沢山の空き教室は無いと思います。廃校になった空き教室の活用に関しては、全道とか全国で利用・再利用に苦戦しています。学校として建てているので、会社にする他の利用にするにせよ、社会教育でいうサークルはもしかすると良いかもしれませんが、一般的な施設には向いていません。
相澤教育長	暖房などでは、江南小学校の利用時にありましたが、学校は常に全校舎を使って運営しますので、ここだけ暖房を入れるということができない。最終的には、小さいストーブを置くなどの対応をするのですが、意外と多用途では使い勝手が悪いのです。
堀委員	仮にその場合、小中学校は廃校となりますか。
相澤教育長	中学校自体は、もう相当古いので取り壊すしかないと思います。小学校は、まだ多少活用できるかと思いますので、会社などが入ってくれば良いかもしれません。
相澤教育長	その他ありますか。

委員	ありません。
相澤教育長	それでは、議案第2号について可決いたします。
相澤教育長	それでは、 <b>議案第3号 全国体力・運動能力・運動習慣等調査の公表について事務局の説明</b> をお願いします。
松本参事	説明
相澤教育長	何か質問ありますか
委員	ありません。
相澤教育長	それでは、議案第3号については可決いたします。
相澤教育長	それでは、次第の <b>6. その他連絡事項</b> について、事務局から説明お願いいたします。
事務局	<b>6. その他</b> ○11月教育委員会連絡事項 ・教育支援係 ～ 井上係長より ・文化振興係 ～ 大久保主幹より ○総合教育会議 12月19日(火)役場委員会会議室 午前9時～ (当初から時間変更)
相澤教育長	朝活で小学校の1～2年生が、冬休みのドリルや宿題を終わってしまうと遊んでいる状況なので、年内は来てもらい1月以降は、1～2年生は対象外にして、3年生以上を対象にしたらという提案をしましたが、休み中の生活習慣が大切という担当の意見もあり、同様の期間で行うことにしています。
井上係長	その代わり、冬ということもありますので、終わりの時間を低学年は、少し早くするようにしてみました。
相澤教育長	その他よろしいでしょうか。総合教育会議についても、よろしく願いいたします。
堀委員	新聞に、全国学力調査で正答率が上がった町村が掲載されていたと思いますが、奈井江町はありませんでした。
相澤教育長	どうしても、その学年に応じて違いがあります。
堀委員	このレーダーの傾向は毎年同じですか。傾向とかはありますか。
井上係長	毎年、本当に違います。
相澤教育長	毎年、文章問題が苦手という傾向はあるかと思います。
井上係長	12月広報に掲載する記事にもありますが、小学校と中学校の質問紙の回答でいくと、比較的読書時間も全道平均より高かったり、新聞を読んでいるという傾向もあるのですが、そこがイコール学力にはなっていないようです。やはり、読解力ということかと思います。
相澤教育長	このアンケート結果を信じない訳ではないのですが、夏の朝活のときに、僕と柴田先生で「新聞のスクラップをしてみよう」という特別授業を4～6年生で行いましたが、みんな新聞を読んだことがないのではという印象でした。一方で、そのアンケート結果によらず、学校とか図書館にいる子、読書をしている子は一定数いる感覚は持っています。

井上係長	長期休業中の朝活でも読書の時間をある程度用意していますので、本を読んでいるという意識が子どもたちの中にあるのかもしれませんが。
林委員	新聞を読んでいる子は、本当にいるのでしょうか。
井上係長	ご家庭でも新聞を購読されているのは少ないと聞きます。
堀委員	キュビナは使ったことはありますか。
井上係長	勉強用としては使ったことはないです。
堀委員	出来ない所があれば、そこに戻れると聞きましたが、どこまで戻れるのですか。
井上係長	出来ない問題に対してA Iが判断して戻っていきますので、結局、出来ない子はどんどん戻っていくことになります。その結果、解く問題が増える。元々勉強好きじゃない子は苦痛になることもあるようです。そこをうまく設定をすることで、何分ぐらいでやめるとか、何問程度で、ということも可能になっています。
堀委員	5科目だから社会とか理科もあるのですよね。
井上係長	ありますので、自由にやろうと思えばいくらでもできます。実際、学校で使っているのは限られた算数などだと思うのですが、自宅に持ち帰りやろうと思えば、いくらでも自分で学習ができる教材です。
堀委員	わかりました。
相澤教育長	<p>それでは、最後に私の方から報告です。</p> <p>10月の終わりに、2年生の保護者4名が来られて、署名を集めたので要望を伝えますということで、要望書を受け取っています。小学校2年生については、通常学級が33人で、特別支援が4人です。町の基準では35人以上は2クラスとし、全部足すと35人を超えますが、特別支援学級は違うクラスとなるので35人にはなりません。ただ、現場としては一緒に学習したら良いという授業は、一緒に学習している実態があり、教室の中だけ見たら37人での授業になっています。そこで保護者の方たちのお話としては、人数が多いとトラブルが多く思えるし、子どもがぶつかったり、生活音が大きくて、先生の声が届いてないのではと思うなどの意見でした。</p> <p>2クラスに分けられたら、少人数で先生の目が行き届くことになり、学習環境としても良いのではないかという趣旨で、2年生を2クラス編制にしてくださいという要望があり、2年生の保護者、全員の方の署名を集めました。署名を取る前に開催された保護者会でも、教頭とか校長も同席して同様の要望を伝えています。</p> <p>このお話を受けた上で、今日の会議の中でも触れましたが、加配を求めても厳しい実態がありますし、奈井江町としての35人基準を下げたとしても、教育局で先生の確保も出来ていない中で、市町村が独自に先生を探すハードルが高いというお話をさせていただきました。その後改めて、校長先生と私で協議をして、保護者からこのような要望がありました、校長先生としてはどのようにお考えですかとお伺いしたところ、校長先生の方からは、「今、国は多様な子どもがいることを前提とした授業を推進しています。子どもたち同士で教え合う教育が進められていて、そのことは尊重し</p>

相澤教育長	たい。勉強の遅れも気になるとありましたが、それは2年生に限らず、学力向上を進めていく取り組みをしようと、全校的な取り組みをしていますということでした。一方、少人数クラスにすることで、子ども同士の刺激も少なくなることや、少人数で人間関係が固定してしまうとマイナス面もあるということで、今の学級1クラス制は維持しつつ、支援員がなるべくサポートをする。また、校長先生とかも学級に入ってTTのような役割を担っているということで、指導員が入ることにより学力向上に配慮していきたい、きめ細かく指導していきたい、という現場の考えがあるということでした。基本的にはその考えを承認した形で、次年度についても同様に思っているところです。
相澤教育長	皆さんからご意見ありますか。
堀委員	支援員の先生も入っているのですか。
相澤教育長	僕が見たときは1人でした。他の教室にもサポートを必要とする児童がいるので皆が2年生ということではありません。
堀委員	特別支援学級の先生は。
相澤教育長	担任の先生1人、特別支援学級の先生1人、町職員の特別支援教育支援員1人で計3人という体制です。
堀委員	それでも、騒がしいということなのですか。絵の具の話も、その時の話ですか。
相澤教育長	絵の具の話は別の日の話です。ただその時も、きっと担任の先生の方から、今日はやりきれなかったことがあったので家庭で洗うことをお願いを、楽メで保護者の方に発信しています。
堀委員	教室の大きさは全部同じですよ。
相澤教育長	<p>僕らの時は教室に40人いました。ただ教科書のサイズも大きくなり、机も大きくなっていて教室は狭く感じるかもしれません。2年生も毎月ではありませんが、参観日のほかクラスの様子を見に行っています。</p> <p>皆さんご承知の通り小学校1年生は保育所の延長で、2年生もややそういう感じがあり、3年生頃から落ち着いて勉強するような感じにという印象があり、それを共有していただけたらと思っています。</p> <p>2年生も、春は確かに、落ち着きがありませんでしたが、月を追うごとに落ち着いてきています。そのことも伝え、お母さん達にも長い目で見て欲しいということや、参観日以外にも学校に来て子どもたちの様子を見てくださいとお話しました。</p>
堀委員	今の2年生は、入学式の時も1人1人に「ありがとうございます」と挨拶をしていました。賑やかな学年ということを感じています。
相澤教育長	直近で授業を見たときは、消防車の絵をみんなで描いていました。担任の先生も意識していたと思うのですが、早く終わった子はパレットを洗って筆はきれいにしよう、と声をかけていました。遅い子は、周りの子が何人か来て、手伝ってあげたりするなど、とても良いと思いながら見ていました。
三原委員	今この時代に署名を集めるのは、エネルギーが必要です。なかなか大変

三原委員	だと思います。その保護者の団結のエネルギーが、子どもを支援する方向に向かったら良いと思います。
相澤教育長	署名を受け取る前段では、共稼ぎ世帯が多いので、家庭における学習サポートが大変だとか。公設塾「ななかま」を作っていただいて、共稼ぎにも対応するような形になっていてありがたいということもお話はしてくれています。
三原委員	すごく問題があるという印象なのでしょうか。より良くなって欲しいので2クラスにして欲しいということなのでしょうか。
相澤教育長	私と学校としては、すぐ対応しなければいけないということではなく、長い目で成長を見てほしいなと思いますし、学校での算数への取り組みなどは、2年生だけということではなく全学年で取り組んでいくということです。校長先生は、子どもの学習に危機感を持っていて、しっかり勉強するために色々取り組みたいと思っているようです。
堀委員	子どもは、先生に甘えたいとか抱き着きたいなど、色々あると思います。1クラスの人数が多いと、そういう接触の仕方も変わってきます。
相澤教育長	絵の授業を観に行った時、パレットとか全部を綺麗にした後に、僕の方に寄ってきて、抱きついてくれたりとか、ネクタイをいじったり、本当にまだまだ子どもなのです。成長曲線は、その子その子で違うので、6歳の時にぐっと上がるのか、12歳なのか。その時に、親や先生が頑張っただけで見てあげることが大切だと思います。最初、署名を受け取って、面談だけで終わりと言っていたのですが、やはり文書でも欲しいという要望があり、お返事の文書を返さなくてはならない時期になりました。皆さんの意見や考えを聞けたらと思い、お話をしましたが、自分の思いと共通ということではあるのでしょうか。
委員	はい。
相澤教育長	その他皆さんみなさんからございませんか。
委員	ありません。
相澤教育長	それでは、これを持ちまして第11回教育委員会を終わります。皆さんお疲れ様でした。
	<b>7. 閉会</b> 15:12